

農林水産大臣賞 受賞

平成 29 年度農業農村整備優良地区コンクール

(中山間地域等振興部門)



おおどろり

周南市大道理地区

農林水産省および全国水土里ネットでは、農業農村整備事業の実施を契機に、個性と活力ある豊かな農業・農村の実現を目指して、地域の特性を活かした柔軟な取り組み活動と産地収益力の向上、あわせて地域資源の保全管理体制の強化と美しい農村環境の創造に結びつく地域づくりに取り組んでいる地区を表彰している。

全国から寄せられた数多くの推薦地区の中から、事前選考会を通過した 10 地区が東京都の砂防会館において、開催された選定審査会（平成 29 年 12 月 8 日）でプレゼンを実施した。

その結果、周南市大道理地区は、地域の特性と農村協働力を活かし、地域の将来方向を見極めた活動が実施されており、今後の農業農村地域の発展と振興に資する地区であるとの極めて高い評価を得て、栄えある受賞となった。大道理夢求の里（むくのさと）交流館の井上正幸館長（右上写真）は、「少子高齢化が進む地域ではあるが、更なる農業農村を守る活動を展開したい」と話してくれた。来る平成 30 年 3 月 26 日 全国水土里ネット総会で表彰式が開催される。

■ 過去の受賞歴

- 平成 25 年度 山口県農地・水・環境保全向上対策協議会会長賞（向道環境保全会）
- 平成 27 年度 山口県農村振興賞（大道理百笑倶楽部）
- 平成 27 年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長最優秀賞（向道環境保全会）
- 平成 28 年度 地域再生大賞優秀賞（大道理百笑倶楽部）
- 平成 29 年度 【地方版】ディスカバー農山漁村の宝（大道理夢求の里交流館）



活動開始前の状況や課題

- 棚田の法面は、高いところで9mもあり、急な傾斜面での約1haの草刈りは高齢者にとって危険かつ重労働。
- このため、平成 19 年から農地・水・環境保全対策を活用し、地域の共同活動で棚田の法面の草刈りなど棚田の保全活動を実施。
- 棚田の法面の草刈り作業を軽減するため、平成 20 年から3年計画で、シバザクラの植栽を実施。



棚田法面のシバザクラ植栽

取組内容

- シバザクラの植栽は、作業に多くの時間と労力を要することから、都市部からのボランティアを募って実施。
- シバザクラ植栽のデザインは、市内にあるデザイン専門学校の学生たちがアイデアを結集して考案。若者たちの発想を受け入れて、更なる活性化と飛躍につなげている。
- 棚田の約1haの法面に、10万本のシバザクラを植栽。



ナベツルをモチーフにしたデザイン

取組の効果

- 法面の植栽により、草刈り等、維持管理労力が低減。
- 少子高齢化が進む山あいの190世帯、人口382人、高齢化率55%の集落に、シバザクラ開花時期は、毎年多くの観光客で賑わっている。
- 本取組を契機に、地元の主婦16名による農産物加工グループ「ほたる工房」も設立され、地域振興が図られている。



美しい棚田に10万本のシバザクラが咲きほころ

過去の山口県内の農業農村整備優良コンクール受賞状況

()は推薦団体

5	平成 25 年度	阿武町	農村振興整備部門	農林水産大臣賞	阿武町福の里地域（農事組合法人 福の里）
4	平成 20 年度	下関市	農村振興整備部門	全土連会長賞	豊田地区（下関市）
3	平成 20 年度	柳井市	農業生産基盤整備部門	農村振興局長賞	大里地区（柳井市土地改良区）
2	平成 10 年度	山口市	UR対策部門	構造改善局長賞	山口市江崎地区（旧江崎土地改良区）
1	平成 8 年度	旧東和町	農村総合整備部門	全土連会長賞	東和地区（旧大島郡東和町）





集落ルネッサンス！

※省力化の検討・・・平成19年度に関係農家6戸による「ほたる工房」を結成。再三の協議を重ねる。

ボランティアは、地域住民から都市住民へ口コミで募集。年間10日作業を実施。平均30名が参加。最高80名。



シバザクラ苗づくり作業

きっかけ

棚田の保全作業は高齢者に負担が大きい。草刈作業の省力化はないか？

Step 1 (H19~)

交付金制度の活用

- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策を活用し、地域の共同活動で棚田の保全活動を実施
- 長大法面の草刈作業の省力化が課題

Step 2 (H20~H22)

草刈作業の省力化検討

- 草刈作業の省力化を図るため、マルチ被覆とシバザクラを組み合わせた法面被覆を計画
- シバザクラの植栽(10万本)は、平成20年度から3年計画で実施

Step 3 (H20~H22)

植栽活動

- 植栽作業は、住民のみならず都市部からボランティアを募って実施
- 植栽のデザインは、市内のデザイン専門学校がアイデアを結集して考案



シバザクラの挿芽作業



シバザクラの植栽作業



シバザクラ草取り



棚田法面を彩るシバザクラ

シバザクラをきっかけに、地域を守るため、地域が一体となって様々な取組を実施(ほたる工房、高齢者サロン、生活交通もやい便など)



ほたる工房



高齢者サロン



生活交通もやい便

将来に向けて

- ホームステイや民泊、空き家を利用した移住体験を企画し、人を集落に呼び寄せ、地域コミュニティの強化を図る
- 「住んで良かった」「訪れてみたくなる」「住みたくなる」をモットーに、地域の連帯感を強め、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という愛郷心を更に醸成させる

Step 5 (H27~)

新たな展開

- 本取組を契機に、地元の主婦による農産物加工グループ「ほたる工房」を設立
- 地域内で収穫された野菜などを食材として手作り弁当を販売
- ※ 月水金の週3日営業している

Step 4 (H23~)

都市農村交流活動

- 平成23年度から「芝桜まつり」を開催
- 少子高齢化が進む山あいの集落に、毎年多くの観光客で賑わうようになる
- ※ H29は開催期間中に約5万人が来場した